

NEWS

地震速報精度 向上！ - 西日本防災システム

2014 07 16

緊急地震速報の精度を高めるため、気象庁は、現在使っている地震波のデータに加え、揺れ始めの震源近くの震度計データも活用する新システムを2016年度にも導入すると発表したそうです。速報と実際の震度がほぼ一致する率は、昨年度の63%から90%程度に高まるようです。気象庁は現在、最初の小さな揺れ(P波)を震源に近い二つの地震計が検知した段階で速報を出しているそうですが、新システムでは、全国約450カ所の震度計のデータを活用し、震源に近い震度計で、P波よりも遅く伝わる大きな揺れ(S波)も分析して速報を出すそうです。従来の方法では、離れた場所で同時に起きた地震を区別できないため、東日本大震災の余震が多かった2010年度の精度は28%にまで下落したそうです。新システムでは、地震波の振幅や波形を分析して複数の地震を区別する手法も導入するんだそうです。詳しい事は分かりませんが、正確な情報を素早く伝えてください！



西日本防災システム

NI SHINI HON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

